

10月1日から桜川市広域連携バスが 市役所岩瀬庁舎まで延伸



■問合先／企画課（☎ 58-5111・75-3111 代表）

運行を記念して行われたテープカット



式典で挨拶を述べる大塚市長

10月 1日から、桜川市広域連携バスの岩瀬地区区延伸および本格運行がはじまりました。

当日は、雨引観音でバス運行の交通安全祈願を行い、その後、市役所岩瀬庁舎敷地内で記念式典を開催しました。

来賓には白田信夫茨城県議会議員をはじめ、土・休日にバスが乗り入れとなる雨引観音の川田興聖住職、車内アナウンスを担当する声優で、さくらがわ応援大使の櫻川めぐさんらが出席。多くの方が見守る中で、運行を記念するテープカットを行いました。

式典 で大塚市長は「高齢者や子供たちなどの交通弱者の移動手段を確保し、だれもが自由に移動ができ、充実した生活をおくれるまちを築きたい。今後皆様さまのご意見をいただきながら、より良い桜川市の公共交通を目指して、取り組んでまいります」と挨拶しました。

式典後は通常運行のバスに、多くの方が雨引観音まで記念乗車しました。運行内容が一新したバスに乗車した乗客からは、広域連携バスへの期待の声が寄せられました。



市役所岩瀬庁舎敷地内で行われた記念式典



活発な意見が飛び交った委員会での様子

9月21日、市役所大和庁舎で、第1回桜川市新庁舎建設検討委員会を開催しました。

委員は、学識有識者や市議会議員、市内の各種団体などの代表者と市職員の24名で構成。委員長には、常磐大学准教授の吉田勉氏が選出されました。

第1回の委員会では、大塚市長から委嘱書を交付したのち、吉田委員長へ新庁舎の機能や位置、建設方法や建設時期などを諮問しました。現在

市役所新庁舎建設の検討を開始

■問合先／企画課（☎ 58-5111・75-3111 代表）

の市庁舎は、旧町村当時の庁舎をそれぞれ使用しており、庁舎の老朽化、耐震性の不足、防災機能の不足やバリアフリーの対応不足に加え、分庁舎方式による市民サービスおよび行政サービスの低下や、経費の発生など様々な課題があります。

今後はこれらの課題に取り組み、市民の皆さまに安全・安心で質の高い行政サービスが提供できる庁舎の建設を目指して検討していきます。



市役所大和庁舎で行われた新庁舎建設検討委員会